



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 ネクストウェア株式会社 上場取引所 東
コード番号 4814 URL <https://www.nextware.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)豊田 崇克
問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 経理財務本部長 (氏名)渡邊 博和 (TEL)06-6281-9866
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,963	△6.5	△147	—	△140	—	△145	—
2023年3月期第3四半期	2,098	△4.7	△71	—	△15	—	△24	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △145百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 △11.44	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	円 銭 △1.91	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 1,630	百万円 1,345	% 82.5
2023年3月期	百万円 1,837	百万円 1,515	% 82.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,345百万円 2023年3月期 1,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 2.00
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —		
2024年3月期(予想)				円 銭 —	円 銭 —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	3.8	30	—	30	△17.0	20	71.6	1.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	13,015,222株	2023年3月期	13,015,222株
2024年3月期3Q	308,719株	2023年3月期	308,719株
2024年3月期3Q	12,706,503株	2023年3月期3Q	12,706,503株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴い経済社会活動の正常化が進み、緩やかに回復しています。一方、先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されますが、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが所属する情報サービス産業におきましては、競争上の優位性を確立するDX（デジタルトランスフォーメーション）関連の需要が堅調に継続するとともに、クラウドサービスの拡大により情報セキュリティの重要性が高まっております。

当社グループは、ソリューション事業において、急速に変化するデジタル社会に対応すべくAI・RPA・顔認証など新たなデジタル・AIによる新規顧客の開拓を進めました。また、エンターテインメント事業においては、舞台と当社独自のデジタル技術の融合による新しいサービスの創出など、作品のエンターテインメント力・完成度を追求しました。

一方、2021年度に株式譲渡した子会社との管理業務受託契約の終了や新型コロナウイルス感染症に係る補助金申請の終了により営業外収益が大きく減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,963百万円（前年同四半期比6.5%減）、営業損失は147百万円（前年同四半期は71百万円の損失）、経常損失は140百万円（前年同四半期は15百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は145百万円（前年同四半期は24百万円の損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

デジタルソリューション・AI（人工知能）を中心としたスマートビジネス事業においては、顔認証入退室管理等のセキュリティ対応に加え、新しいソリューションの創出に取り組みました。例えば、スマートシティ実現に向けた新たな価値を創出する取り組みとして、鉄道駅構内にカメラを設置し、人流を分析するプロジェクトを自治体と共同で推進しました。また、大規模イベント会場において利用者にスマホ等で設備の混雑状況を通知するシステムの構築プロジェクトに参画し、ICTを活用した施設利用者のサービス向上に貢献しました。

また、製造業界などで培ったノウハウを活かし、AIと機械学習を駆使して、工場設備、プラント、公共施設などに設置されたDX機器や施設の異常や故障を未然に予知するソリューションの開発に取り組み、新規顧客として日本企業の海外現地法人から大口受注を獲得し一部納品することができました。今後も同様に海外現地法人からの受注獲得に注力いたします。

防災システムにおいては、最近の異常気象による災害への対応に焦点を当て、防災監視システムおよび道路監視システムの整備に積極的に取り組んできました。新たに収集した気象情報の二次利用を可能にする外部提供機能を整備し、他のシステムとの連携をスムーズに実現できるようになりました。また、洪水・サイクロンなどの自然災害が多発する南アジア地域に気象レーダーシステムを納入し、安定稼働により我々の技術を実証しました。

当第3四半期連結累計期間は、新たなソリューションによる受注獲得が進展したものの、コロナ禍で需要のあった検温によるソリューションや前期に大型納品のあったマイナンバーカード対応の需要減により減収となり、また、次の成長分野であるクラウドサービス事業を拡大するための次世代ネットワーク人材の採用・育成などの社内投資を行ったことから、ソリューション事業の売上高は1,651百万円（前年同四半期比8.8%減）となり、セグメント損失は125百万円（前年同四半期は43百万円の損失）となりました。

② エンターテインメント事業

連結子会社の株式会社OSK日本歌劇団は、当団出身者の笠置シズ子モデルにした連続テレビ小説「ブギウギ」の話題を新規顧客の獲得へ繋げるために企画したグランドレビュー京都南座公演を上演しました。初見のお客様にも多数ご観劇いただき過去最高の来場者数となりました。また、43周年を迎えた福井県越前市「たけふレビュー」公演を1ヶ月間にわたり上演しました。「ブギウギ」の放送を機に全国での知名度向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、新しいファンの獲得を目指して他団体からの出演依頼や共催公演に注力した結果、当劇団の知名度が向上し出演料収入や協賛・広告収入が増加したことなどから、エンターテインメント事業の売上高は311百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント損失は21百万円（前年同四半期は27百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,630百万円となり、前連結会計年度末に比べて207百万円減少しました。これは主として、無形固定資産その他が25百万円、貯蔵品が23百万円、商品が10百万円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が149百万円、現金及び預金が78百万円、流動資産その他が53百万円それぞれ減少したことによります。

負債合計は285百万円となり、前連結会計年度末に比べて36百万円減少しました。これは主として、流動負債その他が18百万円増加した一方で、長期借入金が24百万円、支払手形及び買掛金が15百万円それぞれ減少したことによります。

純資産合計は1,345百万円となり、前連結会計年度末に比べて170百万円減少しました。これは、利益剰余金が170百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,623	561,542
受取手形、売掛金及び契約資産	518,562	368,711
商品	6,552	16,800
仕掛品	17,712	27,662
貯蔵品	-	23,629
その他	188,601	135,554
流動資産合計	1,371,054	1,133,899
固定資産		
有形固定資産	100,903	108,681
無形固定資産		
のれん	19,891	17,137
その他	24,274	49,805
無形固定資産合計	44,166	66,942
投資その他の資産	321,777	321,102
固定資産合計	466,847	496,726
資産合計	1,837,901	1,630,626
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	121,716	106,681
1年内返済予定の長期借入金	15,846	6,600
未払法人税等	10,891	7,281
その他	128,482	147,113
流動負債合計	276,937	267,675
固定負債		
長期借入金	28,550	3,600
退職給付に係る負債	7,673	7,552
資産除去債務	5,510	5,512
その他	3,478	1,260
固定負債合計	45,213	17,924
負債合計	322,150	285,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,310,965	1,310,965
資本剰余金	229,198	229,198
利益剰余金	80,212	△90,511
自己株式	△104,625	△104,625
株主資本合計	1,515,750	1,345,026
純資産合計	1,515,750	1,345,026
負債純資産合計	1,837,901	1,630,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,098,969	1,963,231
売上原価	1,563,069	1,469,465
売上総利益	535,899	493,765
販売費及び一般管理費	607,187	641,670
営業損失(△)	△71,287	△147,905
営業外収益		
受取利息	192	173
受取配当金	465	240
業務受託収入	24,300	7,750
助成金収入	26,648	-
その他	6,482	1,553
営業外収益合計	58,090	9,716
営業外費用		
支払利息	843	469
支払手数料	764	-
為替差損	-	1,687
その他	1,140	456
営業外費用合計	2,749	2,613
経常損失(△)	△15,947	△140,802
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,947	△140,802
法人税、住民税及び事業税	5,847	5,523
法人税等調整額	2,433	△1,014
法人税等合計	8,280	4,509
四半期純損失(△)	△24,228	△145,311
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,228	△145,311

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△24,228	△145,311
四半期包括利益	△24,228	△145,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,228	△145,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,810,605	288,363	2,098,969	—	2,098,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,737	15,737	△15,737	—
計	1,810,605	304,100	2,114,706	△15,737	2,098,969
セグメント損失(△)	△43,498	△27,789	△71,287	—	△71,287

(注) セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	ソリューション 事業	エンターテイン メント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,651,668	311,562	1,963,231	—	1,963,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,254	18,978	22,232	△22,232	—
計	1,654,922	330,541	1,985,463	△22,232	1,963,231
セグメント損失(△)	△125,644	△21,120	△146,765	△1,139	△147,905

(注) セグメント損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失との差額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません